

# 令和6年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」第1回総会

日 時：令和7年3月27日（木）15:00～17:00  
場 所：プラザ洞津 2階 飛翔

## 1 開会あいさつ

## 2 新市町長紹介

## 3 報告事項

- (1) 令和7年度当初予算について 総務部
- (2) 三重県市町災害時応援協定の機能強化について（三重県版カウンターパート支援の導入） 防災対策部
- (3) 2025 大阪・関西万博の取組について 政策企画部 雇用経済部
- (4) 沖縄「三重の塔」における戦没者慰霊式について 子ども・福祉部

## 4 意見交換

- (1) 三重県の周産期医療体制について
- (2) 多文化共生社会の実現に向けた自治体の取り組みについて
- (3) 能登半島地震をふまえた南海トラフ地震対策の強化～避難所の環境改善～

## 5 閉会あいさつ

### 配付資料

- 【資料1】 令和7年度当初予算について
- 【資料2】 三重県市町災害時応援協定の機能強化について（三重県版カウンターパート支援の導入）
- 【資料3】 2025 大阪・関西万博の取組について
- 【資料4】 沖縄「三重の塔」における戦没者慰霊式について
- 【資料5】 意見交換資料



令和6年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」名簿

令和7年3月27日

会長	三重県知事	一見勝之
副会長	三重県市長会会長	鈴木健一
	三重県町村会会長	西田健
	三重県副知事	野呂幸利
委員 (市町)	津市長	前葉泰幸
	四日市市長	森智広
	伊勢市長	鈴木健一
	松阪市長	竹上真人
	桑名市長	伊藤徳宇
	鈴鹿市長	末松則子
	名張市長	北川裕之
	尾鷲市長	加藤千速
	亀山市長	櫻井義之
	鳥羽市長	中村欣一郎
	熊野市長	河上敢二
	いなべ市長	日沖靖
	志摩市長	橋爪政吉
	伊賀市長	稲森稔尚
	木曾岬町長	加藤隆
	東員町長	水谷俊郎
	菰野町長	諸岡高幸
	朝日町長	矢野純男
	川越町長	城田政幸
	多気町長	久保行央
	明和町長	下村由美子
	大台町長	大森正信
	玉城町長	辻村修一
	度会町長	中村忠彦
	大紀町長	服部吉人
	南伊勢町長	上村久仁
	紀北町長	尾上壽一
	御浜町長	大畑覚
	紀宝町長	西田健

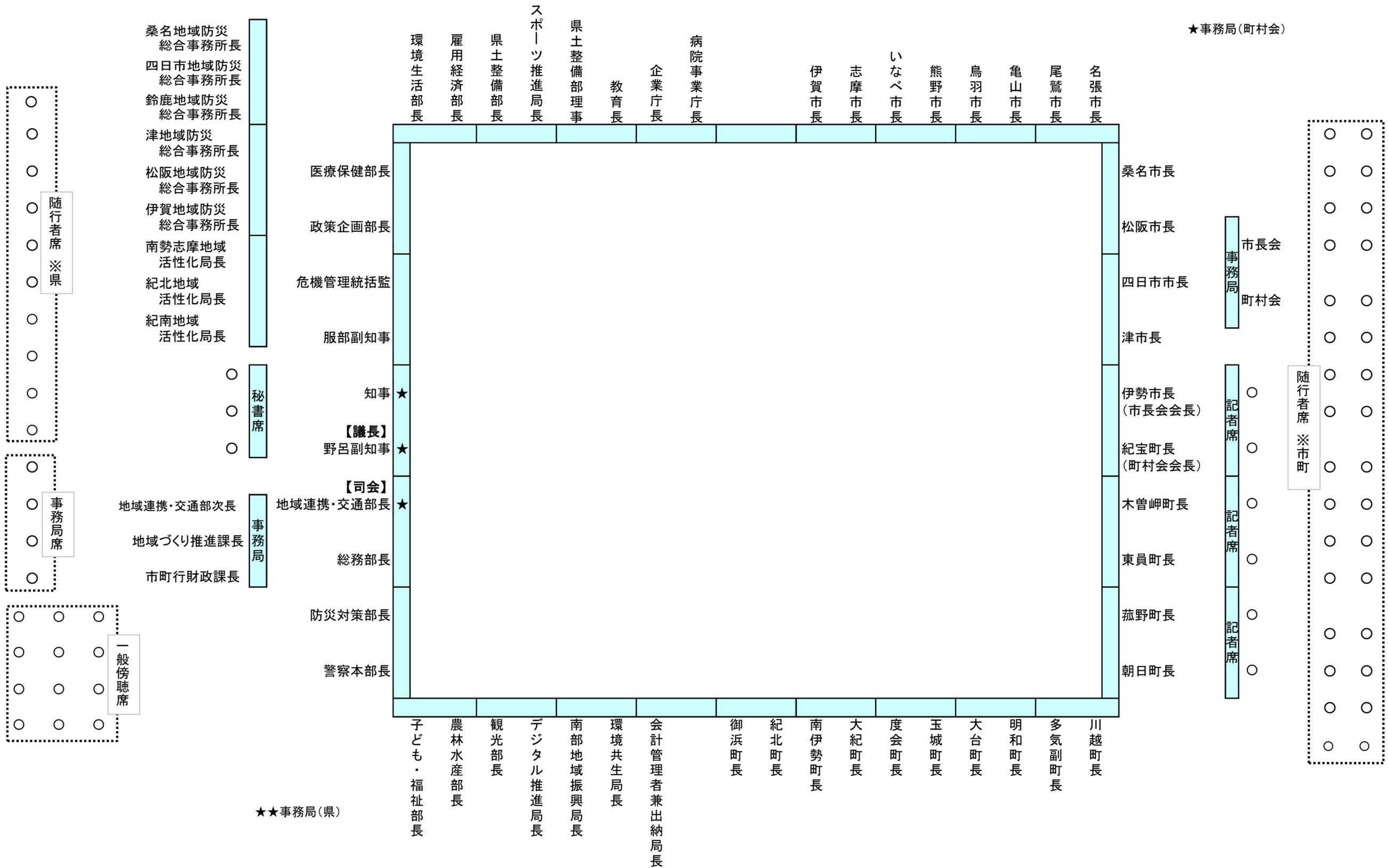
委員 (県)	知事	一見勝之
	副知事	服部浩
	副知事	野呂幸利
	危機管理統括監	清水英彦
	総務部長	後田和也
	デジタル推進局長	横山正吾
	政策企画部長	小見山幸弘
	地域連携・交通部長	長崎禎和
	スポーツ推進局	藤本典夫
	南部地域振興局長	佐波斉
	防災対策部長	楠田泰司
	医療保健部長	松浦元哉
	子ども・福祉部長	枘屋典子
	環境生活部長	竹内康雄
	環境共生局長	佐藤弘之
	農林水産部長	中野敦子
	雇用経済部長	松下功一
	観光部長	生川哲也
	県土整備部長	若尾将徳
	県土整備部理事	佐竹元宏
	会計管理者兼出納局長	佐脇優子
	企業庁長	河北智之
	病院事業庁長	河合良之
	教育長	福永和伸
	警察本部長	難波正樹
	桑名地域防災総合事務所長	大平和輝
	四日市地域防災総合事務所長	佐藤史紀
	鈴鹿地域防災総合事務所長	杉野京太
	津地域防災総合事務所長	阪靖之
	松阪地域防災総合事務所長	川北敏
伊賀地域防災総合事務所長	辻上浩司	
南勢志摩地域活性化局長	山口成大	
紀北地域活性化局長	鈴木さおり	
紀南地域活性化局長	天野長志	

令和6年度 県と市町の地域づくり連携・協働協議会 総会 座席表

令和7年3月27日(火) プラザ洞津 2階「飛翔」

★マイク配置(計6本)

★事務局(町村会)



## I 県民の命と尊厳を守る [R6：899億円→R7：962億円（前年度比63億円（7.0%）増）]

### 1. 困難を抱える子どもへの支援 [R6：111億円→R7：118億円（前年度比7億円（6.4%）増）]

#### (1) 困難な状況にある子どもや家庭への支援

- 新①校内教育支援センターの環境充実に向けた市町向け補助 [26百万円]
- 新②学校に代わる居場所としてのフリースクール支援 [15百万円]
- 新③いじめ防止のための子どもアドボカシーに係る教材開発と研修の実施 [3百万円]
- 新④令和7年度開校「県立みえ四葉ヶ咲中学校」における学習環境整備と学校運営 [30百万円]

#### (2) 児童虐待防止・社会的養育の推進

- 新①「子どもを虐待から守る条例」の改正をふまえた人材育成や関係機関との連携 [20百万円]
- 新②一時保護の司法審査制度導入をふまえた児童相談所への弁護士等の専門人材の増員 [42百万円]

#### (3) 幼児教育・保育の充実

- ①保育士支援アドバイザーによる保育士等へのアウトリーチの相談支援 [4百万円]
- 新②保育実習生受入担当者向け研修の実施 [1百万円]
- 新③保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能の強化 [7百万円]

#### (4) 学校における働き方改革と教員不足への対応

- 新①高校生に多様な学習コンテンツを提供する遠隔授業システムの構築 [63百万円]
- 新②教員の人材確保に向けた県外転職・移住フェアとの連携・教職の魅力発信 [1百万円]

## II 未来を拓く [R6：674億円→R7：778億円（前年度比104億円（15.5%）増）]

### 1. 子どもの希望を育む [R6：72億円→R7：91億円（前年度比19億円（26.3%）増）]

#### (1) 自分らしく生き抜いていく力の育成

- ①自己肯定感を涵養する授業づくりや学校づくりに向けた取組 [1百万円]
- 新②誰もが美術作品を楽しく鑑賞できる機会の提供に向けた取組 [6百万円]

#### (2) 子どもが豊かに育つ環境づくり

- 新①「三重県子ども条例」の改正をふまえた取組の推進・啓発 [41百万円]
- 新②子ども医療費の現物給付に係る市町補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大 [193百万円]

#### (3) 三重県誕生150周年

- 新①記念事業の実施に向け、機運醸成を図るためのPRを実施 [24百万円]
- 新②「第19回美し国三重市町対抗駅伝」に関連し、三重県誕生150周年に向けた機運を醸成 [22百万円]

### 2. 産業の成長支援 [R6：421億円→R7：444億円（前年度比23億円（5.5%）増）]

#### (1) 成長産業の育成／再生可能エネルギー／産業を支えるインフラ整備

- 新①半導体関連産業の集積や投資促進（方針策定、企業・高等教育機関と連携した人材育成・確保） [23百万円]
- 新②洋上風力発電に係る国の次期実証事業への応募を見据えたポテンシャル調査の実施 [5百万円]
- 新③スタートアップ創出支援（インキュベーション施設の整備や企業の一部機能（調査・設計部門等）の誘致に係る進出企業への補助） [60百万円]
- 新④水素等の利活用に係る技術開発等への支援、ペロブスカイト太陽電池導入可能性調査 [20百万円]
- 新⑤輸出用米の生産性向上技術や輸出時の品質低下を防ぐための輸送方法の実証試験を実施 [5百万円]

#### (2) 農林水産業の生産性向上／環境変化へ対応した農林水産業

- ①農業法人の合併や第三者への事業承継に向けた取組を支援 [6百万円]
- 新②真珠、青さのり、マハタ養殖における遺伝情報を活用した育種の実施、新魚種導入の検討 [30百万円]
- 新③魚病被害の抑制や飼料コストの低減のため、無給餌期を設ける新たな養殖方法を検証 [7百万円]

### 3. 観光・プロモーションの推進 [R6：26億円→R7：37億円（前年度比11億円（43.9%）増）]

#### (1) インバウンド誘客

- 新①インバウンド誘客に関する戦略策定 [16百万円]
- 新②インバウンドに対応した受入環境の充実への支援 [608百万円]
- 新③海外O T Aや検索サイトを活用した情報発信 [60百万円]

#### (2) 戦略的な観光誘客／世界遺産 熊野古道を生かした誘客

- ①平日の需要喚起に向けた旅行者の県内周遊の促進 [86百万円]
- ②熊野古道来訪のための二次交通の実証運行を実施 [32百万円]

#### (3) 多様な主体と連携し、文化や県産品を生かしたプロモーション

- 新①斎宮歴史博物館の展示リニューアルに向けた設計、史跡公園整備計画策定のための調査 [35百万円]
- 新②伊勢茶のブランド展開戦略の構築、海外プロモーションや関西茶品評会でのブランド価値向上支援 [15百万円]
- ③第44回全国豊かな海づくり大会 ～美し国三重大会～ の開催 [672百万円]

### 2. 防災・暮らしの安全安心 [R6：788億円→R7：844億円（前年度比56億円（7.1%）増）]

#### (1) 南海トラフ地震対策の強化に向けた取組

- 新①孤立地域対策や避難所環境改善支援のための「いのちを守る防災・減災総合補助金（仮称）」創設 [334百万円]
- 新②シチュエーションルーム及びオペレーションルームの機能強化 [42百万円]
- 新③空中消火実施体制の強化を図るため、自立式消火バケットの購入及び自衛隊との協定の締結 [5百万円]

#### (2) 人権

- 新①「三重県性暴力の根絶をめざす条例（仮称）」に基づく周知・啓発等 [12百万円]
- 新②部落問題をはじめ人権問題に関する学習を促進させる教職員向け動画の作成と研修の実施 [2百万円]
- 新③人権センター常設展示室改修の基本方針を踏まえた具体的な展示内容を決定 [4百万円]

#### (3) 医療提供体制の確保

- 新①医師、看護職員、薬剤師等の確保・偏在解消に向けた取組 [2,165百万円]
- 新②安心して出産できる体制を確保するための分娩取扱施設への支援 [59百万円]

#### (4) 暮らしの安全安心や戦後80年に向けた取組

- 新①SNS等に起因する犯罪の被害防止のため、ターゲティング広告による注意喚起 [45百万円]
- 新②ツキノワグマの生息分布と個体数を把握するための調査を実施 [37百万円]
- 新③当事者やその家族に寄り添う相談窓口「ひきこもりピアサポートセンター」の開設 [2百万円]
- 新④県内高校生と同世代の海外紛争地域で暮らす学生とが行う平和について考えるワークショップ [6百万円]
- 新⑤沖縄「三重の塔」の苑内環境整備事業 [68百万円]

### 4. 人口減少対策の着実な推進 [R6：113億円→R7：134億円（前年度比20億円（17.7%）増）]

#### (1) ジェンダーギャップ解消

- 新①ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定 [4百万円]
- 新②短時間正社員制度等の導入・活用の促進（奨励金の支給、専門家による伴走支援等） [33百万円]
- 新③家事代行サービス利用補助の促進（みえ子ども・子育て応援総合補助金） [R6:300百万円→R7:330百万円]

#### (2) 移住

- 新①移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションの実施 [27百万円]
- 新②県独自の移住フェア、移住セミナー等の開催 [28百万円]

#### (3) 自然減対策

- 新①AIマッチングシステムの導入による出会い支援の充実 [39百万円]
- 新②セミナー・検査・医師アドバイスを一体としたプレコンセプションケア事業の実施検討 [1百万円]
- 新③保険適用のない不妊治療への助成拡充 [50百万円]

#### (4) 公共交通の維持・確保

- 新①公共ライドシェアの導入など交通空白の解消に取り組む市町への支援 [130百万円]
- 新②バス・タクシーの運転士不足への対応 [24百万円]

### 5. 人材確保対策の本格展開 [R6：42億円→R7：74億円（前年度比31億円（73.3%）増）]

#### (1) 働きやすい職場環境づくり、多様な人材の就労支援／地域が求める人材の育成（リスキリング）

- 新①カスタマーハラスメントの防止に係る条例の制定、対策に取り組む企業支援 [22百万円]
- 新②高齢者の就労機会確保や障がい者雇用に取り組む企業への支援 [16百万円]
- 新③移住や就職への関心がまだ高くない層に対する三重で暮らす・働く魅力の発信 [10百万円]
- 新④小・中・高校生及びその保護者に対し、SNSを活用した建設業の魅力発信 [12百万円]
- 新⑤県内中小企業を対象としたリスキリング研修、女性のデジタルスキル習得に向けた研修の実施 [21百万円]
- 新⑥農業・林業・水産業の各分野の多様な担い手の確保に向け、受入環境の整備等を支援 [47百万円]

#### (2) 外国人労働者の受入体制の整備と多文化共生の推進

- 新①外国人介護人材の受入れ促進（現地セミナー、受入れ施設支援等） [88百万円]
- 新②海外合同面接会による現地大学生等と中小企業とのマッチング機会創出 [40百万円]
- 新③留学生を含めた外国人の就労支援、職場定着等に向けた企業への支援 [30百万円]
- 新④企業による従業員への日本語学習の機会提供の促進に向けた啓発や支援 [5百万円]

#### (3) 適正取引・価格転嫁と生産性向上

- 新①適正価格での販路拡大に向けた支援、適正取引・価格転嫁の普及啓発 [11百万円]

#### (4) 物流対策

- 新①物流事業者による女性・外国人等の多様な人材確保等の取組を支援 [5百万円]

※国の経済対策等を受けて一体的に編成する令和6年度12月補正（その2）（公共事業）・1月補正・2月補正（その1）予算と合わせて、8,714億円  
※本資料の掲載事業には一部2月補正（2月補正その1）を含みます。  
※各種パッケージ等については「別紙1」～「別紙5」にまとめています。



□全て新規事業又は新規性のある取組を掲載しています。括弧書き( )は資料1-1「令和7年度当初予算と条例のポイント」の関連項目です。

## 子ども・子育て支援 ~みえ子どもまるごと支援パッケージ・3rdステージ~

R 5 当初：98.6億円 [前年度比22%増]  
R 6 当初：106.3億円 [前年度比7.8%増]  
R 7 当初：112.4億円 [前年度比5.8%増]

- 子ども医療費の現物給付に係る市町補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大 [193百万円]

R5:未就学児の現物給付に係る所得制限の一部廃止(+1.3億円)  
R6:医療費補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大(+1.5億円)

- 学校に代わる居場所としてのフリースクール支援  
(事務局職員の人件費・施設賃借料・修繕費等の運営経費補助) [15百万円]
- 保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」  
における人材バンク機能の強化 [7百万円]

I. 県民の命と尊厳を守る / 1. 困難を抱える子どもへの支援  
II. 未来を拓く / 1. 子どもの希望を育む



## ジェンダーギャップ解消に向けた取組

R 7 当初：5億円 [前年度比9.5%増]

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進  
5. 人材確保対策の本格展開

- ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定  
[4百万円(一部2月補正(その1))] ]
- 短時間正社員制度等の導入・活用の促進  
(奨励金の支給、専門家による伴走支援等) [33百万円]
- 家事代行サービス利用補助の促進  
(みえ子ども・子育て応援総合補助金) [R6:300百万円→R7:330百万円]

弱点克服:ジェンダーギャップ指数(経済分野)が全国で46位



## 南海トラフ地震対策の強化に向けた取組

R7当初：37.7億円 [前年度比14.8%増]

1. 県民の命と尊厳を守る / 2. 防災・暮らしの安全安心

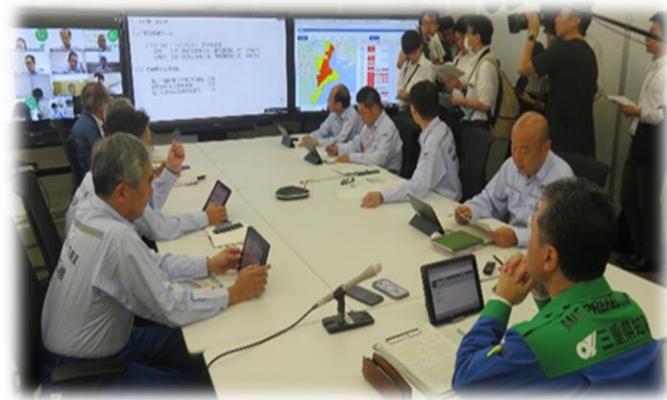
- 孤立地域対策や避難所環境改善に取り組む  
市町への支援

(いのちを守る防災・減災総合補助金(仮称)) [334百万円]

- シチュエーションルーム及びオペレーションルーム  
の機能強化 [42百万円]

- 空中消火実施体制の強化を図るため、自立式消火  
バケットの購入及び自衛隊との協定の締結 [5百万円]

能登半島地震では発災直後より延べ約18,000人を派遣  
支援活動で得た多くの「気づき・課題」を80項目にとりまとめ



## 移住の促進

R7当初：4.4億円 [前年度比24.8%増]

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進

- 移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションの実施 [27百万円]
- 県独自の移住フェア、移住セミナー等の開催 [28百万円]

ニーズや特性に応じたモデルを設定し、それぞれにアプローチ



県内への移住者数  
H27:124人→R5:757人

UP!!

4つのモデル		
	暮らし重視	仕事重視
都市部	①仕事を变えずに移住 ベルソナ例)愛知県在住の夫婦。子との3人暮らし。子育てしやすい環境での生活を希望しているが、今の仕事を続けたいので転職は考えていない。	②仕事を見つけて移住 ベルソナ例)関西在住の20代後半女性。都会生活から離れ、今の居住地から比較的近い近畿での移住先を仕事優先で検討している。
地方部	④自然環境や暮らしを重視して移住 ベルソナ例)関西在住の30代共働き夫婦。フリーランスのまま、憧れの海が見える場所での暮らしを希望。将来、家族が増えることを考え、子育て環境も考慮している。	③やりたいことの実現にむけて移住 ベルソナ例)首都圏在住の30代単身男性。企業勤め。自然豊かな場所での農業に憧れがあるが未経験であるため就業サポートが必要。一軒家を希望している。

※ベルソナ…モデル毎に設定する具体的な人物像

## 公共交通の維持・確保

R7当初：12.9億円 [前年度比1.7%増]

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進

- 公共ライドシェアの導入など交通空白の解消に取り組む市町への支援 [130百万円]
- バス・タクシーの運転士不足への対応 [24百万円 (2月補正 (その1))]

弱点克服:「移动手段、交通の便利さ」全14分野の中で  
ワースト1位 ※みえ県民一万人アンケート(第2回)



紀北町 おでかけ応援サービス「えがお」  
(公共ライドシェア)



みえU | 8会議

<若者の声>

「車がないと生活できない」  
「公共交通の利便性が低い」  
住み続けるのに最低限必要なのはコンビニや便利な交通網」



地域座談会

<高齢者の声>

「免許返納したくてもできない」  
「ドアtoドアの輸送があると良い」

## 成長産業の振興

R7当初：33.9億円 [前年度比23.1%増]

II. 未来を拓く / 2. 産業の成長支援

- 半導体関連産業の集積や投資促進  
(方針策定、企業・高等教育機関と連携した人材育成・確保) [23百万円]
- 洋上風力発電に係る国の次期実証事業への応募を見据えたポテンシャル調査の実施 [5百万円]
- スタートアップ創出支援  
(インキュベーション施設の整備や企業の一部機能(調査・設計部門等)の誘致に係る進出企業への補助) [60百万円]



オランダのウインドファーム  
(出典：資源エネルギー庁ホームページ)

## 農林水産業の振興

R7当初：106.8億円 [前年度比8.1%増]

II. 未来を拓く / 2. 産業の成長支援  
3. 観光・プロモーションの推進

- 伊勢茶のブランド展開戦略の構築、海外プロモーションや関西茶品評会でのブランド価値向上に向けた支援 [15百万円]
- 真珠、青さのり、マハタ養殖における遺伝情報を活用した育種の実施、新魚種導入の検討 [30百万円]
- 農業・林業・水産業の各分野の多様な担い手の確保に向け、受入環境の整備等を支援 [47百万円]
- 第44回全国豊かな海づくり大会～美し国三重大会～の開催 [672百万円]



写真提供：大分県

受け継ごう 命あふれる 清い海



第44回 全国 豊かな海づくり大会  
～美し国みえ大会～

## 観光振興

《インバウンド誘客関連予算》  
R7当初：18.9億円 [前年度比149.3%増] ※令和6年度2月補正（その1）含み

II. 未来を拓く / 3. 観光・プロモーションの推進

### ● インバウンド誘客 反転攻勢への対応

弱点克服：インバウンドの回復率 全国47位 ※令和元年10月比

- インバウンド誘客に関する戦略策定  
[16百万円（一部2月補正（その1））]
- インバウンドに対応した受入環境の  
充実への支援  
(宿泊施設の和洋室化等への補助) [608百万円]



### ● 観光誘客のさらなる推進

日本人宿泊者数 R元:687万人→R6:694万人(回復率100.9%)

UP!!

- 平日の需要喚起に向けた旅行者の県内周遊の促進  
[86百万円（一部2月補正（その1））]
- 斎宮歴史博物館の展示リニューアル  
に向けた設計、史跡公園整備計画  
策定のための調査 [35百万円]





## 現状と課題

- ◆平成24年8月に三重県、市長会、町村会の3者で「**三重県市町災害時応援協定**」を締結し、ブロック単位での応援や、応援内容、応援要請の手続き、経費の負担等について規定
- ◆しかし、この協定では**被災市町にどのブロックから応援に入るのか事前に決まってい**ないという課題あり

現在の三重県市町災害時応援協定における応援の考え方

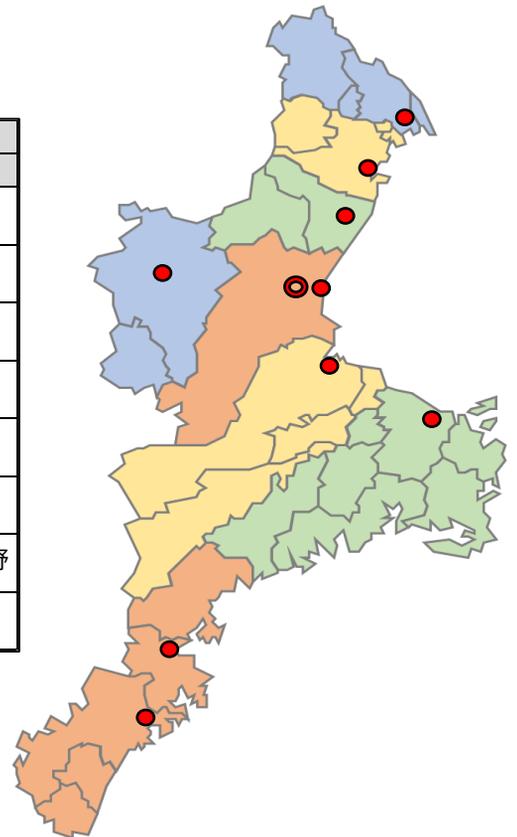
- ・ブロック内市町間での相互応援が基本
- ・ブロック内で対応ができない場合、防災対策部が他ブロックと調整を行った上で応援ブロックを決定 → **応援ブロックは発災後に決定**

## 新たな機能強化策

- ◆三重県市町災害時応援協定の新たな運用として、**応援に入るブロック順位の第1位から第3位を事前に指定**
- ◆**応援ブロックの第1位は被災ブロックとお互いペア**になるよう組み合わせ、**日頃より緊密な連携体制を構築**

## 応援ブロックの組み合わせ

被災ブロック	構成市町	応援ブロック		
		第1位	第2位	第3位
桑名	桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町	伊賀	津	四日市
四日市	四日市市、朝日町、川越町、菟野町	松阪	桑名	鈴鹿
鈴鹿	鈴鹿市、亀山市	伊勢	四日市	桑名
津	津市	尾鷲・熊野	鈴鹿	伊賀
伊賀	伊賀市、名張市	桑名	伊勢	松阪
松阪	松阪市、多気町、明和町、大台町	四日市	尾鷲・熊野	津
伊勢	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、南伊勢町、大紀町、度会町	鈴鹿	伊賀	尾鷲・熊野
尾鷲・熊野	尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町	津	松阪	伊勢



### 応援ブロックの基本的な考え方

- (1) **第1位は被災ブロックと同時に被災する可能性が低い**組み合わせとし、かつ**お互いペア**になる組み合わせとする。
- (2) **第2位は第1位のブロックと異なる進出ルート**で向かうことができるブロックとする。
- (3) **第3位は移動距離が短い**ブロックとする。
- (4) 第3位までのブロックで応援できない場合は、防災対策部が応援可能なブロックの把握を行い、応援を要請する。
- (5) 上記応援順位を基本としながらも、被害の程度などを勘案し、より迅速かつ効果的な運用ができるよう、防災対策部は柔軟に応援ブロックの調整を行う。

○ 防災対策部  
ブロック間の調整、応援ブロックの決定を行う  
● 地域防災総合事務所等  
ブロック内における応援市町の調整、決定を行う



## 関西パビリオン 三重県ブース

千年以上の時を超えて未来へとつづく、日本の精神・文化の原点の物語とそこで育まれた美し国みえの姿  
**日本のこころの原点** ～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

### 出会う 時のトンネル



「熊野古道伊勢路」など  
三重県の歴史物語を体感

### 知る 美し国みえ体験広場



三重県ならでの体験コンテンツの発信

### 旅立つ ナビゲーションエリア



来場者一人ひとりの  
関心に応じた旅情報の提供



訪れる

ブースの来場者へ三重県  
各地の魅力を発信

⇒三重県に誘客！

### ★「県内市町出展デー」

「美し国体験広場」に出展を希望  
する市町が、それぞれワーク  
ショップなどを開催  
(各1日間)



各市町の魅力を広く発信

美し国みえ体験広場では  
体験コンテンツと共に期間限定展示を実施

#### ●6つの特集テーマ

熊野古道

常若

歴史・文化

自然

産業

食



【テーマ：自然】  
ミキモト真珠島「自由の鐘」

## ★万博会場内の2カ所で催事を実施

## ★①②に希望市町がブース出展

## ★その他の取組



①EXPOアリーナ「Matsuri」

### ①「～三重のおまつり大集合!～MIEフェスティバルin EXPO」

「祭り」をテーマに、県を代表する催事・行事  
の実演を行うとともに、県内事業者等のブース  
出展により三重の魅力をPR  
開催日：9月22日(月)

### ②「美し国彩り三重バザール」

「三重の食体験」をテーマに、県内各地の  
食文化体験や県産品販売、観光PR等を実施  
開催日：6月30日(月)～7月6日(日)  
9月2日(火)～9月8日(月)



関西パビリオン外観イメージ  
(提供：関西広域連合)

②関西パビリオン多目的エリア

◆校外学習での万博入場チケット  
全額を支援  
⇒SDGsや世界の文化、最先端の  
技術などについて学び、体験する  
絶好の機会。

◆「三重テラスin大阪」の設置  
⇒万博来場者が増加すると見込ま  
れる万博会期後半(8月～10月)  
に計6カ所設置。



大阪・関西万博公式キャラクター  
ミヤクミヤク ©Expo 2025



## 沖縄「三重の塔」における戦没者慰霊式について

県では、先の大戦で犠牲になられた県民を慰霊するため、例年 11 月に沖縄県営平和祈念公園に設置する「三重の塔」において慰霊式を開催しています。

これまで慰霊式の開催は、一般財団法人三重県遺族会が主催しておりましたが、令和 4 年度から、県が引き継ぎ開催し、令和 5 年度以降の慰霊式には、複数の市長、町長にご臨席をいただいています。

令和 7 年度は、11 月 17（月）に開催いたします。ご臨席についてご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## &lt; 沖縄「三重の塔」 &gt;

沖縄県営平和祈念公園内の「三重の塔」は、昭和 40 年 6 月に建立され、沖縄戦をはじめ先の大戦で尊い命を落とされた三重県出身の戦没者約 53,000 柱（沖縄戦戦没者 2,600 柱、南方諸地域 31,300 柱、その他地域 19,100 柱）を祀っています。

令和 7 年は、戦後 80 年の節目の年であり、高齢となった御遺族をはじめ多くの方に参列していただけるよう、同エリアのバリアフリー化をはじめとした改修工事を予定しており、11 月の慰霊式の際には、新しくなった「三重の塔」での慰霊式開催を計画しています。





意見交換

(1) 三重県の周産期医療体制について

(2) 多文化共生社会の実現に向けた自治体の取り組みについて

(3) 能登半島地震をふまえた南海トラフ地震対策の強化  
～避難所の環境改善～

意見交換の趣旨

知事ほか県幹部職員と県内市町長が、全県的な課題について自由に意見交換することにより、喫緊の課題における現状認識及び課題把握、今後の方向性などの共通認識を醸成させるとともに、その場で頂いたご意見やご提言等については、今後の政策の展開に生かしていくものとします。



「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」総会  
意見交換テーマシート

団体名・部局課名： 名張市福祉子ども部健康・子育て支援室

意見交換テーマ	三重県の周産期医療体制について
<p>三重県の周産期医療体制は、正常分娩などを診療所・病院が担い、リスクの高い妊娠に対する医療や高度な新生児医療等については総合周産期母子医療センターが担うと機能分担されています。近年、分娩を実施している医療機関は、分娩件数の減少や医師の高齢化等により減少しており、伊賀地域においては、分娩を取り扱う医療機関が相次いで分娩の取り扱いをやめることを決められ、令和7年度からは分娩取扱施設が1病院となります。地域で安心・安全に出産ができる体制の維持及び限られた医療資源を確保するための具体的な施策が必要と考えます。</p>	
<p>● 協議していただきたいポイント 分娩取扱施設を維持していくための公的支援 周産期医療体制における地域の実情に応じた隣接県との連携</p>	

# 三重県の周産期医療体制について

## 周産期医療体制

三重県では

- リスクの低い出産は「地域の産科医療機関等」
- 中等度以上のリスクの出産は「周産期母子医療センター等」で行うという適切な機能分担、連携体制を構築し、安全・安心な周産期医療を提供しているところ。

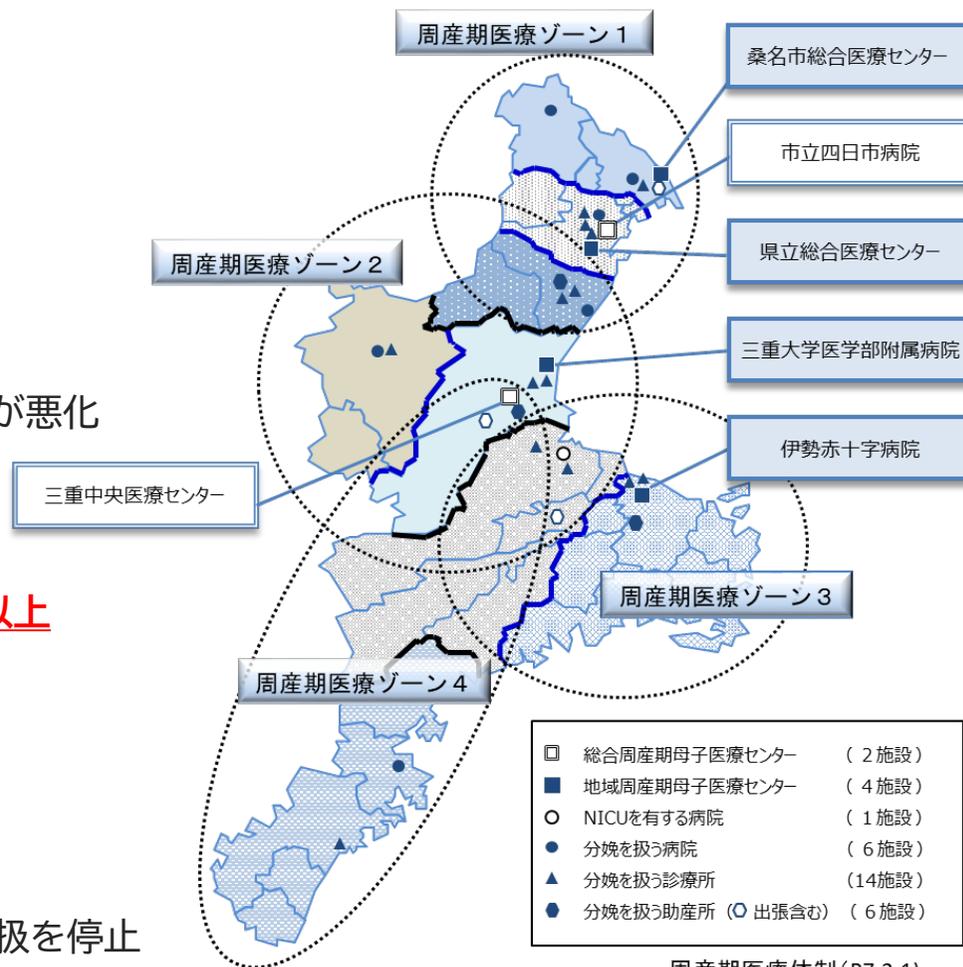
## 周産期医療体制の現状・課題

- ・出生数は過去最少を更新するなど、産科医療機関の経営環境が悪化
- ・産科医療機関の施設数は、13年間で**13施設の減少**  
平成24年4月:39施設 → 令和7年4月:26施設
- ・産婦人科・産科・婦人科の診療所勤務医師の**34.3%が70歳以上**

## 伊賀地域(伊賀市・名張市)

- ・伊賀地域では、分娩を取り扱う医療機関が3カ所であったが、
- ・名張市内の1診療所では令和7年1月15日、
- ・伊賀市内の1診療所では令和7年3月末日をもって、分娩の取扱を停止  
⇒**令和7年4月以降、伊賀地域での分娩取扱施設は1施設のみとなる**

## 県内の周産期医療体制



周産期医療体制(R7.2.1)

「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」総会  
意見交換テーマシート

団体名・部局課名：木曾岬町・総務政策課

意見交換テーマ	多文化共生社会の実現に向けた自治体の取り組みについて
<p>1. 現状の課題</p> <p>木曾岬町が直面している多文化共生に関する課題は多岐にわたっており、具体的には、次のような点が挙げられます。</p> <p>① 言語の壁</p> <p>多国籍な住民が増える中で、言葉のコミュニケーションが不足し、情報の伝達やサービスの利用に支障をきたしている。</p> <p>② 文化的理解の不足</p> <p>異なる文化背景を持つ住民同士の理解が不足しており、ゴミの出し方や交通安全の面でトラブルになるケースがある。</p> <p>③ 社会参加の機会の欠如</p> <p>外国人住民が地域社会に参加する機会が限られており、孤立感を抱えるケースが多い。</p> <p>2. 今後の方向性</p> <p>多文化共生社会を実現するために、以下の方向性が重要だと考えています。</p> <p>① 言語支援の拡充</p> <p>行政サービスや地域情報を多言語で提供する体制を整えると共に、日本語教室を開催する。</p> <p>② 文化交流の促進</p> <p>地域住民と外国人住民が共に参加できるプログラム（文化イベントや交流会）を開催し、相互理解を深める機会を充実させる。</p> <p>③ 参加の場を創出</p> <p>外国人住民が地域活動に参加できるよう、ボランティア活動や地域協議会への参加を促進する。</p>	

## ● 協議していただきたいポイント

多文化共生社会の実現は、単なる理念ではなく、具体的な行動と施策が求められるものであり、自治体としては、地域の特性や住民のニーズに応じた取り組みを進めることが重要であると考えています。

しかしながら、自治体が単独で施策を展開していくには、人的・費用的な側面からも非常に困難であることから、特に日本語教育における**広域での取組**について提案したいと考える。

広域的な取り組みとして行っていくことで、地域間での相互協力はもちろんこと、情報や、リソースの共有ができるという点からも効果的なのではないかと考えるが、この点について協議したい。

## ● 広域の取組内容

多文化共生社会の実現に向けて、各自治体が地域の特性や住民のニーズに応じた施策を展開することが重要であることは、理解しています。特に、外国人住民の割合が高い当町においては、日本語教室の早急な開校が求められているという現状を認識しており、現在、来年度の開校に向けて準備を進めています。

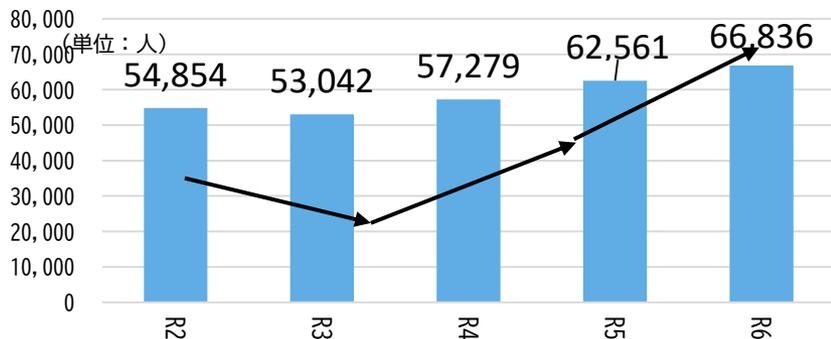
しかし、複数人のボランティアを確保することが難しいという現状の中では、頻繁に教室を開校することが困難であるという課題があります。そこで提案したいのは、各自治体が独自に行っている、または今後行う予定のある取り組みに、住んでいる自治体に関係なく気軽に参加できる仕組みを構築してはどうかということです。これにより、自治体間の垣根を超えて多様なプログラムにアクセスできるようになり、外国人住民にとっては選択肢が増え、交流の機会も広がります。また、ボランティアの確保が難しい自治体とそうでない自治体との間での開催回数や内容の格差を軽減することができ、バランスの取れた支援を行うことが可能になります。

このような取り組みを行うことで、地域全体での多文化共生の推進が進み、より豊かな社会の実現につながると考えています。

## 1. 現状と課題

### ○県内の外国人住民数の推移

▶ R6年 過去最多を更新  
▶ 今後も増加見込み

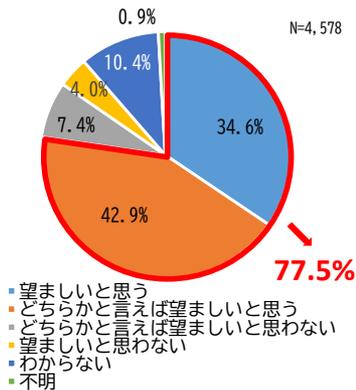


出典：三重県環境生活部「外国人住民国籍・地域別人口調査」（令和6年12月31日現在）

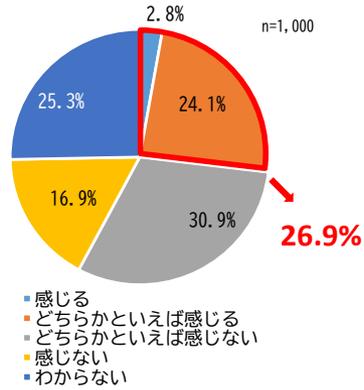
### ○共生社会についての県民意識

Q. あなたは、日本人と国籍の異なる外国人が、互いの文化的差異を認め合い、地域社会の構成員として共に生きていく共生社会についてどう思いますか。

Q. あなたは、「日本人と外国人が、互いの文化的差異を認め合い、地域社会の一員として共に生きていく共生社会」になっていると感じますか。



出典：三重県政策企画部「第2回みえ県民1万人アンケート」（令和5年度）



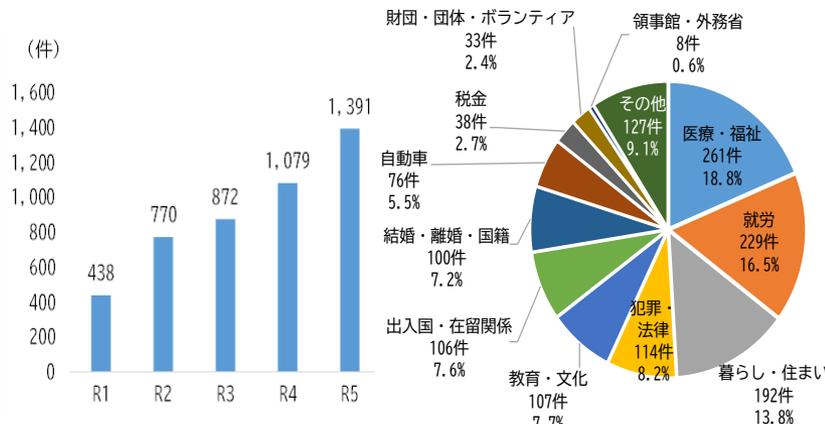
出典：三重県総務部「IT広聴事業e-モニター」（令和6年度）

▶ 多文化共生社会に関して県民の理解が十分に浸透しているとはいえない

### ○生活相談窓口の状況

みえ外国人相談サポートセンター (MieCo) 相談数の推移

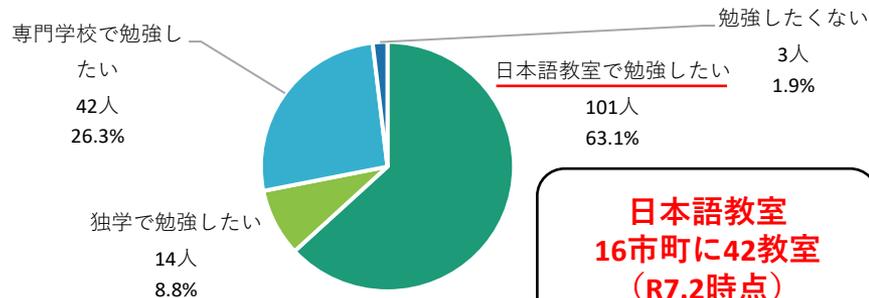
みえ外国人相談サポートセンター (MieCo) 相談 (R5) の内訳



相談件数は年々増加

相談内容は多方面・複雑化

### ○日本語学習機会の提供



日本語教室  
16市町に42教室  
(R7.2時点)

出典：三重県環境生活部「外国人住民アンケート調査」（令和7年1月31日現在）

## 2. 令和7年度の主な取組

### 《多文化共生社会づくりへの参画促進》

- 多文化共生啓発イベント等の開催
- 国際交流員による児童等への出前講座や「やさしい日本語ガイドライン(R6作成)」の周知
- 「三重県多文化共生推進会議」や市町担当者会議等での情報共有や意見交換

⇒外国人と日本人の相互理解の促進、多文化共生意識の醸成



R6 多文化共生啓発イベント

### 《外国人住民の安全で安心な生活環境づくり》

- 県多言語情報提供ホームページ(MieInfo)等での行政や生活、防災等に関する情報提供(7言語)
- みえ外国人相談サポートセンター(MieCo)の運営(11言語)

⇒生活に必要な情報の提供を強化するとともに、相談員の資質向上や庁内関係部局等との連携の強化により相談体制をさらに充実！

- 外国人防災リーダーの育成や外国人被災者の避難所受入訓練等
- 医療通訳の育成や医療機関へのモデル配置等



R6 外国人被災者避難所受入訓練

## 2. 令和7年度の主な取組

### 《日本語教育体制の整備のための支援》

- 地域日本語教育コーディネーター(8人)による支援
  - ・市町やNPOが日本語教室を開設・運営する際の助言
  - ・日本語を学習したい方に近隣市町の日本語教室を紹介
  - ・企業が外国人従業員へ日本語教育を行う際の講師や教材等の紹介

⇒ 取組をさらに強化するため地域日本語教育コーディネーターを新たに育成！

- 日本語教室において外国人住民の学習を支援するボランティア(学習ボランティア)を育成
- WEBサイト「三重県日本語教育プラットフォーム」に市町やNPOの日本語教室の開催状況、学習ボランティアの募集等の情報を掲載し、日本語教育に関する団体間で共有
- 複数市の国際交流協会が合同で学習ボランティアを育成する等の先進事例を市町担当者会議等において共有





「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」総会  
意見交換テーマシート

団体名・部局課名：三重県防災対策部

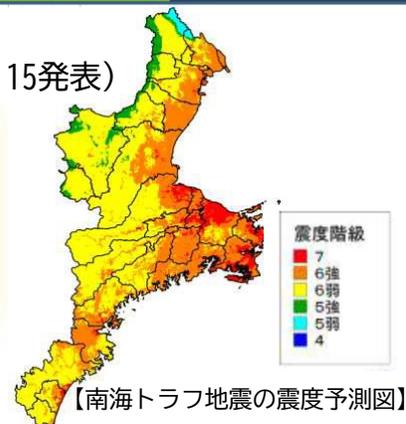
意見交換テーマ	能登半島地震をふまえた南海トラフ地震対策の強化 ～避難所の環境改善～
<p>●令和7年1月、南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率が従来の「70～80%」から「80%程度」に引き上げられ、南海トラフ地震対策のさらなる強化と加速化が必要。</p> <p>●令和7年度は能登半島地震の被災地支援活動での気づきをふまえた「南海トラフ地震対策の強化に向けた取組方針」に基づき、市町と連携した具体的な取組を展開する。</p> <p>●今回は、特に避難所の環境改善に向けた取組について、意見交換を実施したい。</p> <p>【避難所環境の改善に向けた取組】</p> <p>●避難所の良好な生活環境の創出に向けては、スフィア基準をふまえながら、県と市町が力を合わせた取組が必要。</p> <p>●県では、「三重県避難所運営マニュアル策定指針」を、能登半島地震の支援活動による「気づき」やスフィア基準への対応などをふまえて改定。</p> <p>●この指針をふまえながら、避難所の環境改善に向けた市町の取組に対する支援を強化。</p> <p>① 専門家派遣による課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所の環境改善に向けた取組を実践するうえでの市町の課題に対し、専門家を派遣して課題解決を図る。</li> <li>・ その成果を他の市町に水平展開し、共有する。</li> </ul> <p>② 「いのちを守る防災・減災総合補助金」による財政支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来の補助金制度をリニューアルし、市町の防災・減災対策を支援する総合補助金を創設。</li> <li>・ 避難所の環境改善に向け、目指す姿や具体的な手法、スケジュールなどを盛り込んだ計画を市町が策定し、その達成に必要な取組には別枠での支援を実施。</li> <li>・ 地域の実情に応じて実施する計画的な取組を幅広く支援</li> </ul> <p>③ 避難所外避難者の生活環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車中泊避難者や帰宅困難者等の避難生活環境の改善を図るため、トイレ・ソーラーシステムを備えた移動可能なユニットハウスや水循環型シャワーを整備。</li> <li>・ 各圏域の広域防災拠点に配備し、災害発生時には必要に応じて市町の避難所へ提供</li> </ul>	
<p>● 協議していただきたいポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所の環境整備や運営において、特に注力する取組やその実施に向けた課題について</li> </ul>	

※参考資料① 能登半島地震をふまえた南海トラフ地震対策の強化

## ■ 南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率の引き上げ (地震調査委員会 R7.1.15発表)

(従来) 70~80% ➡ **80%程度**

**南海トラフ地震対策のさらなる強化と加速化が必要**



【南海トラフ地震の震度予測図】

## ■ 市町と連携した取組

能登半島地震の被災地支援活動での気づきをふまえた『南海トラフ地震対策の強化に向けた取組方針』に基づき、**市町と連携した具体的な取組**を展開

### ① 避難所の環境改善

- 市町における避難所環境改善の取組に対する、**専門家派遣**や**財政支援**を実施



### ② 孤立地域対策

- 孤立地域における孤立の要因や通信環境、物資の状況などの**実態調査**を実施
- ドローンによる物資輸送の実証調査**を実施



### ③ 災害対応のマネジメント技術を身につけた職員の育成

- みえ防災人材アカデミー**を創設
- 災害対応をマネジメントできる県・市町職員を育成



### ④ 災害ケースマネジメントの指針策定

- 災害関連死の未然防止
- 被災者一人ひとりに寄り添った支援の実現



### ⑤ 災害時の土地利用の整理

- 応急仮設住宅建設用地、救助機関活動拠点、災害廃棄物仮置き場などの土地利用を整理



## ■ 避難所環境の改善に向けた県の取組

### 1 「三重県避難所運営マニュアル策定指針」の改定（令和6年度）

- ・ 能登半島地震の支援活動による「気づき」や避難所における一人あたりの居住空間の確保などのスフィア基準への対応、**自宅避難・車中泊避難**など避難者ニーズの多様化などをふまえて、現行指針を改定
- ・ 避難所の運営者がマニュアルに記載されている事項を漏れなく確認できるよう**チェックシート**を掲載

【例】女性向け物資の配布場所や配布方法、授乳室確保など女性視点による避難所環境の確認シート など

#### 【目安（例）】

- ・ 居住空間の広さ：一人当たり最低3.5㎡
- ・ トイレの数：20人あたり1基、女性用と男性用の割合=3:1

### 2 市町への支援策等（令和7年度）

- ・ 市町における避難所環境改善の取組を強力に後押しするため、**専門家派遣**や**財政支援**を実施
- ・ 避難所の環境改善に向けて、**県と市町が力を合わせ取組を加速**

#### ① 専門家派遣による課題解決

- ・ 避難所の環境改善に向けた取組を実践する上での課題に対し、**専門家を派遣**して課題解決を図る
- ・ 成果は県内市町に**水平展開し、共有**

【検討テーマ例】

- ・ 衛生的なトイレ環境の確保  
温かい食事の提供
- ・ ペット避難への対応 など

#### ② 「いのちを守る防災・減災総合補助金」による財政支援

- ・ **市町が地域の実情に応じて実施する避難所環境改善の計画的な取組**を幅広く支援するため**総合補助金を創設**

【取組例】

- ・ 避難所におけるプライバシー確保や衛生的なトイレ環境確保のための資機材等の導入
- ・ 避難所外避難者の把握のためのデジタル技術の活用 など

#### ③ 避難所外避難者の生活環境改善

- ・ 車中泊避難者や帰宅困難者等の避難生活環境の改善を図るため、**移動可能なユニットハウス**及び**水循環型シャワー**を広域防災拠点に備蓄
- ・ 災害発生時には必要に応じて市町へ提供

#### 本日の意見交換のポイント

避難所の環境整備や運営において、特に注力する取組やその実施に向けた課題についてご協議をお願いします。

